

第32回定期演奏会

Tokyo Sinfonietta the 32nd Subscription Concert

東京シンフォニエッタ TS

2012.10.13 (土) 開演 14:00

14:00 Saturday, 13th October 2012

東京文化会館 小ホール

Tokyo Bunka Kaikan Recital Hall

指揮：板倉康明
Conductor : Yasuaki Itakura

ギター：鈴木大介
Guitar : Daisuke Suzuki

ヴァイオリン：海和伸子
Violin : Nobuko Kaiwa

ヴァイオリン：梅原真希子
Violin : Makiko Umehara

演奏：東京シンフォニエッタ
Ensemble : Tokyo Sinfonietta

— 西村 朗 特集 —

Featuring on Akira Nishimura

西村 朗 Akira Nishimura

光の蜜 (1990)

Honey of Light (1990)

虹の体 (2008)

Rainbow Body (2008)

ラティ 2台のヴァイオリンのための (2009) 日本初演

Rati for two Violins

(2009) Japanese premiere

オルゴン 室内オーケストラのための (2005) 日本初演

Orgone, for Chamber Orchestra

(2005) Japanese premiere

ギター協奏曲 (2012、東京シンフォニエッタ委嘱) 世界初演

Guitar Concerto

(2012, commissioned by Tokyo Sinfonietta) World premiere

入場料：一般 4,000 円／学生 3,000 円 (全席自由)

主催：東京シンフォニエッタ

助成：芸術文化振興基金 公益財団法人 花王芸術・科学財団

公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション

Tokyo Sinfonietta the 32nd Subscription Concert

第32回定期演奏会 東京シンフォニエッタ

TS

— 西村 朗 特集 — Featuring on Akira Nishimura

2012年10月13日(土) 開演14:00 / 東京文化会館 小ホール
14:00 Saturday, 13th October 2012

Tokyo Bunka Kaikan Recital Hall

西村 朗 (作曲)

Akira NISHIMURA



大阪市に生まれる。東京藝術大学卒業、同大学院終了。

日本音楽コンクール作曲部門第1位(1974)、エリザベート国際音楽コンクール作曲部門大賞(1977・ブリュッセル)、レイジ・ダルッラピッコラ作曲賞(1977・ミラノ)、尾高賞を5回(1988・1992・1993・2008・2011)、中島健蔵音楽賞(1990)、京都音楽賞[実践部門賞](1991)、日本現代芸術振興賞(1994)、エクソンモービル音楽賞(2001)、第3回別宮賞(2002)、第36回(2004年度)サントリー音楽賞、第47回毎日芸術賞(2005)等を受賞。この他、02年度芸術祭大賞に「アルディッティSQプレイズ西村朗『西村朗作品集5』」が、05年度芸術祭優秀賞に「メタモルフォーシス・西村朗室内交響曲」が選ばれる。2000年よりいすみシンフォニエッタ大阪の音楽監督に就任、2003年よりNHK-FM「現代の音楽」の解説を6年間、2009年より同Eテレ「N響アワー」の司会者を3年間務め、2010年草津夏期国際音楽フェスティバルの音楽監督に就任。東京音楽大学教授。

板倉康明 (指揮)

Yasuaki Itakura 1960-



©Eric Manas

東京藝術大学を経て仏政府給費留学生として渡仏。パリ市立音楽院、パリ国立高等音楽院を卒業。クラリネットソリストとしてキャリアを積み、これまでに東京都交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団等と共に演じた。また国内外で、日本の作品について、演奏、講義を行っている。1996年西村朗作品により指揮デビュー。以後、現代作品を中心に、活発な指揮活動を行っている。これまでに、サントリー・サマーフェスティバル、サイトウ・キネン・フェスティバル松本、プレゾン音楽祭(仏)、ミュージック・フロム・ジャパン(NY)、現代音楽アスペクト(仏カーン)等、国内外の音楽祭に招聘されている。日本音楽コンクール委員会特別賞、第18回中島健蔵音楽賞を受賞。

東京シンフォニエッタ

Tokyo Sinfonietta 1994-



東京シンフォニエッタは同時代の音楽の優れた演奏と、現在活動している作曲家達の創作と直接関わることを目的として設立された。以来、東京での定期公演や各種音楽祭への参加などを通して、国籍も美学も異なる現在活躍中の内外の作曲家の作品を演奏し紹介している。現代作曲家の、非常に高度な要求に応えるべく結成された室内オーケストラである。繊細かつ正確無比な現代の日本文化を音で表現するアンサンブルとして国内外で高い評価を得ている。2010年12月「第28回定期演奏会・湯浅謙二特集」では、サントリー芸術財団「佐治敬三賞」を受賞。

鈴木 大介 (ギター)

Daisuke Suzuki, Guitar



作曲家の武満徹から「今までに聴いたことがないようなギタリスト」と評されて以後、新しい世代の音楽家として常に注目され続けている。

マリア・カナルス国際コンクール第三位、アレッサンドリア市国際ギター・コンクール優勝など数々のコンクールで受賞。

現代音楽の初演や、アンサンブルとコンチェルトの膨大なレパートリーでの、明晰な解釈力と洗練された技術は、多方面からの評価を確立し、難度の高いプロジェクトにおけるファースト・コール・ギタリストの位置を維持している。

また、斬新なレパートリーと新鮮な解釈によるアルバム制作はいずれも高い評価を受け、「カタロニア讃歌～鳥の歌／禁じられた遊び～」は2005年度芸術祭優秀賞(レコード部門)を受賞。2011年までに映画音楽カヴァーアルバム「キネマ樂園」シリーズを4作品発表、各方面から好評を博している。

第10回出光音楽賞、平成17度芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞。洗足学園音楽大学客員教授。横浜生まれ。

<http://daisukesuzuki.at.webry.info/>

海和伸子 (ヴァイオリン)

Nobuko Kawai



東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、東京藝術大学器楽科卒業。

東京文化会館新進音楽家デビューコンサート出演。津田ホールでリサイタルを行う。

東京都交響楽団入団の後、スペイン公演を機に東京シンフォニエッタのメンバーとなり現代音楽の活動を始める。堀川富美子氏の新作無伴奏ヴァイオリンのための「ルブリヨフの扉」を初演。

オーケストラ、ソロ、室内楽、レコーディング等、幅広い分野の演奏活動を行う。

これまでに、足立佳代子、田中千香士、澤和樹、清水高師の各氏に師事。現在、東京都交響楽団団員、東京シンフォニエッタメンバー。

梅原真希子 (ヴァイオリン)

Makiko Umebara



桐朋女子高等学校音楽科を経て桐朋学園大学、ジュリアード音楽院を卒業。

1988年より、東京、ニューヨーク等でリサイタルを開催。特に1994年の東京公演は好評を博し、出光賞にノミネートされる。1995年N.Y.日系人コンクール優勝。Dr.Shinnyo音楽賞受賞。2005年よりカントウス・カルテットメンバーとして、古典から現代作品までの幅広い演奏活動を行う他、年二回のabchambermusic室内楽ワークショップでの指導、小学校・介護施設などへの訪問演奏も積極的に行っている。

現在、カントウス・カルテット、東京シンフォニエッタメンバー、ソロ、室内楽奏者として幅広く活動中。

■第33回定期演奏会 野平一郎特集

次回演奏会のお知らせ

2013年7月予定

野平一郎:ドューブル~室内オーケストラの為の~／新作(東京シンフォニエッタ委嘱作品)世界初演 他

主催: 東京シンフォニエッタ <http://orchestra.musicinfo.co.jp/~ts/>

助成: 芸術文化振興基金 公益財団法人花王芸術・科学財団 公益財団法人 ロームミュージックファンデーション

チケットお取り扱い: 東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650 <http://www.t-bunka.jp>

お問い合わせ: 東京コンサツ 03-3226-9755 (月~金 10:00~18:00) <http://tokyo-concerts.co.jp> (HPにて予約、セブン・イレブンにて支払・受取ができます。)

東京文化会館: 「JR 上野駅」公園口正面